

令和4年度 事業計画

一般社団法人三次観光推進機構

一般社団法人三次観光推進機構
令和4年度 事業計画

令和4年度の当機構の事業計画は、三次市観光戦略（令和3年9月策定）に基づき、それぞれの施策に対して目標値を設定する。また、DMO 形成・確立計画に設定した目標 KPI を念頭に各施策に取り組んでいくものとする。

さらに、当機構は、令和4年8月に地域 DMO の更新を迎える。登録更新にあたり、観光庁が令和2年4月に一部改正した「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」に示す登録要件を満たす運営体制へ移行していくものとする。

三次市観光戦略に基づいた主な取組み方針

当機構は、三次市観光戦略に基づき、主に下記の3点に注力して、事業展開をする。

1. 「にぎわいの創出」から観光消費額を向上させる「稼ぐ力の創出」へシフトした取組みに注力する。

「にぎわいの創出」 < 「稼ぐ力の創出」

2. コロナ禍の収束が見通せないことから、「観光客数の増大」を期待するのではなく、「満足度アップ」による「リピート率のアップ」や「滞在時間の延伸」、ひいては、稼ぐ力（観光消費額）の向上に最も貢献すると思われる「宿泊者数の増大」をめざすものとする。

観光客数の増大 < 満足度アップ < リピート率アップ < 宿泊者数の増大

3. 三次市内各観光協会と当機構が組織統合した新たな DMO 推進体制を築き、部門別組織において効率的な運営体制の確立をめざす。

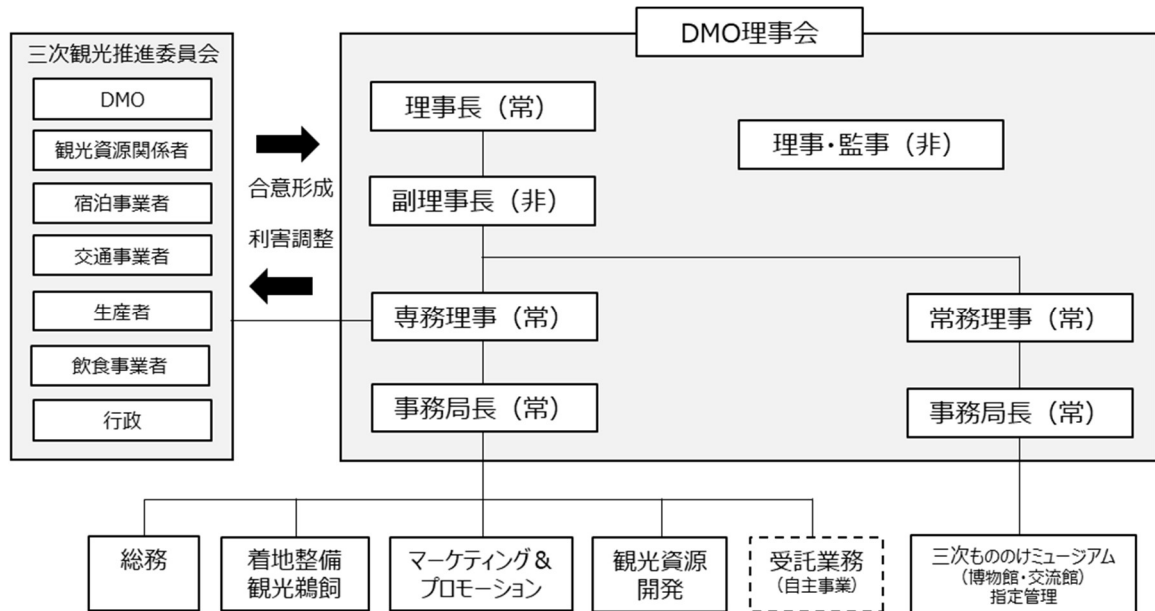
観光庁指定の新たな DMO 登録要件ガイドラインを遵守した運営体制への移行

また、当機構は、観光庁の DMO ガイドラインにおける登録要件を満たすよう、特に下記の2点に注力して取り組むものとする。

1. DMO ガイドラインにおける「観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等」として、「**三次観光推進委員会**」を設置する。その委員会は、① 三次市内の主な観光資源関係者 ② 宿泊事業者 ③ 交通事業者 ④ 生産者 ⑤ 飲食事業者 ⑥ 行政等、三次市の観光産業を支える多様な関係者が参画できるものとする。
2. 観光庁から最も優先して取り組むべき事項として指定されている観光資源の磨き上げや観光客の受入環境整備等の「**着地整備**」を優先して推進する。

新たな DMO 運営体制の組織図

新たな DMO 組織は、効率的な部門別組織とする。また、観光庁が DMO 登録要件として挙げている多様な関係者から構成する委員会等として「三次観光推進委員会」を設置し、関係者の合意形成が有効に行われる仕組みづくりに着手する。



令和4年度 部門別取組み目標と事業計画

- 令和4年 当機構の目標（観光庁指定必須）KPI
 - ◇ 総観光消費額 50.0 億円 （令和2年度実績 39.0 億円）
 - ◇ 延べ宿泊者数 15 万泊 （令和2年度実績 12.8 万泊）
 - ◇ 来訪者満足度 65% （令和3年度実績 58%）
 - ◇ リピート来訪率 75% 以上 （令和3年度実績 88%）

	KPI	単位	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5) 三次市 観光戦略目標
1	総観光消費額（目標） （利用データ：広島県観光客数の動向）	百万円	4,500	5,000	6,540
	（実績）		（7月頃発表予定）		
2	延べ宿泊者数（目標） （利用データ：広島県観光客数の動向）	千人	140	150	180
	延べ宿泊者数の発表数値（見込み）		139		
3	来訪者満足度（目標） （利用データ：当機構ネット調査）	%	62%	65%	67.0%
	やや満足と満足の合計割合（実績）		58.1%		
4	リピーター率（目標） （利用データ：当機構ネット調査）	%	75%	75%	75.0%
	三次への2回以上来訪者数の割合（実績）		88.4%		

➤ **総務部門** 予算 61,000 千円

◇ 施策

- ・ 人事管理の徹底
- ・ 専門人材の確保による業務推進
- ・ 予算管理の一本化
(各部門の予算管理を一本化することにより、効率的な予算執行とコストの削減を図る)
- ・ 会計処理の効率化
(実務処理を本部と指定管理部門とに分けることにより、会計処理の効率化を図る)
- ・ 総会及び理事会等の準備と適切な運営
- ・ 職員研修やスタッフ教育の実施によるお客様への接遇向上とサービス向上。資格取得の推進。
- ・ 施設管理の効率化によるコストの削減

➤ **着地整備&観光鶏飼部門**

予算 16,020 千円 (内訳： 着地整備 4,400 千円、 観光鶏飼 11,620 千円)

◇ 部門目標 (KPI) と施策

1. 観光庁推奨外国人観光案内所機能 (最低カテゴリー I 以上) の認定取得 2 か所
2. 観光案内所への来訪者の属性などの調査地点数 3 か所
3. 観光鶏飼の乗船料売上 388 万円以上
4. 観光鶏飼事業 黒字化

【参考】

●日本政府観光局 (JNTO) 認定 外国人観光案内所のカテゴリー (参考：広島県内認定施設 49か所)

分類	主な機能
カテゴリー III	常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fi あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。
カテゴリー II	少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域の観光や交通の情報提供ができる。
カテゴリー I	パートタイムで英語対応可能なスタッフがいる。または、電話通訳サービスや多言語翻訳システムの利用、ボランティアの活用等により英語対応でき、地域内の観光や交通の情報提供ができる。
パートナー施設	観光案内を専業としない施設やボランティア団体等により運営され、必要な基準を満たすもの。

◇ 事業計画

1. DMO の登録要件として優先的整備が求められている着地整備を推進
 - 三次駅前観光案内所、三次町観光案内所 (三次もののけミュージアム交流館内)、東酒屋 (広島三次ワイナリー敷地内に臨時出店) を三次市街地の着地整備 3 拠点として運営する。
 - Tourist Info. サインボード・看板、Wi-Fi、多言語説明ツール (タブレット、デジタル・サイネージ) (三次駅前)、その他全般に多言語チラシ、英語マップ、多言語同時翻訳機等の設置

- 観光庁「着地整備」関連補助金の積極的な申請と活用
- 2. 体験観光商品、宿泊プランや DMO サイト紹介宿泊施設の事前予約の紹介と販売支援
 - 店舗とネット販売の連携（OTA）
- 3. 三次おもてなしスタッフの育成と管理
 - 三次ボランティアガイドとの連携、きんさいエイドの活用、観光アンバサダー制度の導入の検討を行う。
- 4. 観光鵜飼事業の安定経営
 - オンライン予約の活用、システムによる予約や在庫の一元管理を徹底する。
 - 顧客管理システム（CRM）の導入による顧客分析や効率的な営業を行う。
 - 収益性を考慮した「鵜飼まつり」の企画と開催手法を検討する。
 - 最低催行人数の設定や貸切による運行、週末に限定した運行により収益性のある開催日程での経営を行う。
 - 水難事故の未然防止のため、国土交通省が定める「川下り船の安全対策ガイドライン」を徹底して遵守する。
- 5. イルミネーション事業への助成
 - 国道 183 号沿線のイルミネーション事業については、実行委員会等の実施主体に対して事業費の一部を助成する。
- 6. イベント事務局業務（受託業務）
 - イベント実行委員会等が主催し、当機構に事務局の運営業務の委託があるものは、個別に検討したうえで、受託業務として実施する。

➤ **マーケティング&プロモーション部門** 予算 13,300 千円

◇ 部門目標（KPI）と施策

1. 広島県観光客統計調査に即したウェブ調査等の実施 1 回
 - 市外からの観光客に加えて市内在住者を調査対象とし、総観光消費額、周遊地点などの統計情報の年次推移を分析し、広島県観光客統計調査に反映できるよう継続的に調査する。
 - 年間 1,800 サンプル（月間 150 サンプル×12 か月）とする。
2. 観光消費額の向上に最も効果のある「延べ宿泊者数」の増大 5,000 人泊 増
 - ◎ 参考：推定観光消費額 20,185 円×5,000 人 = 100,925 千円の創出
 - 各種宿泊プランの企画、宿泊推進キャンペーンの実施など最重要課題として取り組む。
 - 広域周遊観光コンテンツと連動した宿泊プロモーションの検討を行う。
3. 三次まち歩きアプリ（三次わくわくさんぽ）ダウンロード数 2,000 件登録 増
 - 2,978 人（iPhone 1,755 Android 1,223）（令和 4 年 2 月 19 日現在）
 - グルメスタンプラリーやドライブ割などアプリを活用した飲食消費増大キャンペーンの実施
4. SNS の合計フォロワー数を倍増（合計目標 10,000 人）
 - SNS フォロワー増大プロモーションを実施するなどして、新たな観光客を開拓する。

（参考）Twitter（もののけハロウィン）：506 Twitter（きりこちゃん）：1,518
Instagram：1,029 三次観光公式 Facebook：2,733
（令和 4 年 2 月 19 日現在）

5. その他、各種プロモーションの実施、事業単位での目標 KPI の設定

- 新たな観光冊子の配布、各種チラシの増刷と市外への配布先の拡大（広島市、東広島市、福山市、尾道、呉、道の駅、大阪、島根、東京など県内外その他未開拓配布先ルートの開発）。

➤ **観光資源開発部門（専務理事が兼務）** 予算 7,800 千円

◇ 部門目標（KPI）と施策

1. 体験観光コンテンツの新規販売 3 件
 - 作木町（江の川ラフティング、E バイクツアーの販売開始）と川西（E バイクガイドツアーの販売開始）とプロモーション支援
2. 新規体験観光コンテンツ開発 2 件
 - 新たな三次市内の自然を活かした観光商品造成支援
3. コンテンツ造成する実施団体の外部補助金獲得 1 件 200 万円以上
 - 上記コンテンツ造成のための観光庁や広島県観光連盟などからの補助金獲得
4. 既存体験観光商品の黒字化継続支援 2 件（君田町、ハイツカトリアル）
 - 君田温泉森の散歩道ウォーキングガイドツアー年間 100 名以上、ハイツカトリアル競技体験教室 年間 30 名以上販売のための PR、情報発信、販売強化支援
5. 宿泊を伴う夜間観光コンテンツ開発・磨き上げ 2 件（ナイトタイムエコノミー推進）
 - 地域限定旅行業資格を利用した宿泊プランの造成やナイトタイムエコノミー企画開発（鵜飼プラン、霧の海、夜神楽、早朝温泉、ナイトミュージアム、夜のもののけイベント、など、今後検討）
6. 三次町での空き店舗と事業者のマッチング数 1 件
 - 三次町出身の建築家、谷尻誠氏と協業した三次地区まちづくり企画の推進
7. 観光資源の磨き上げと情報発信 DMO ホームページ閲覧者数 400,000 PV
 - 参考：令和（R）1=78,982PV, R2=127,690PV R3=275,298PV
 - DMO 公式ホームページのコンテンツの整理と拡大、情報配信力アップと三次まち歩きアプリへのコンテンツ併用と機能強化

➤ **受託業務（部門横断的業務）** 予算 44,790 千円

- ◇ 市から当機構に対して観光推進に関する受託業務が想定されることから、全部門で横断的に対応する。
- ◇ 受託業務の内容に応じて、必要な人材を外部から確保して業務を行う。

➤ **三次観光推進委員会の設置**（主担当：専務理事）

- ◇ 市内にある観光に係る多様な関係者から構成する委員会を 6 月までに開催し、専務理事が中心となって、当機構の取組み目標（KPI）や事業計画を共有し、意見交換をしながら目標達成、事業計画のブラッシュアップや改善などを通じて合意形成を図る。また、関係業界の既存施策との相乗効果を上げていく。
- ◇ 年 2 回程度開催し、必要に応じて目的別分科会等を別途設けて協議する。
- ◇ 別途、規程参照。

➤ 指定管理業務（三次もののけミュージアム） 予算 72,450 千円

◇ 本年度方針

本施設の設置目的である「観光・交流の拡大及び郷土への誇りの醸成と交流による創造的な活動の活性化」を実現するために引き続き以下の点に留意し管理運営を行う。

湯本豪一記念日本妖怪博物館が三次地区住民にとって誇りとなる活動を展開している施設として地域に根付くために、「稲生物怪録」をはじめとする日本の妖怪文化が現代にあっても、人々の暮らしの深いところで脈々と継承され、新たな価値＝文化の形成に資する存在であることを 資料の収集や展示、各種のシンポジウムや印刷物の配布等の学芸部門がその役割を發揮できるための環境整備や支援を行う。

◇ 部門目標（KPI）と施策

1. 年間入館者数 45,000 人（令和 3 年度 2 月末実績 29,188 人）
2. 入館料 売上 17,250 千円（令和 3 年度 2 月末実績 11,375 千円）
3. ミュージアムショップ売上 7,000 千円（令和 3 年度 2 月末実績 5,215 千円）
4. 貸館売上 2,550 千円（テナント賃料 2,500 千円, 貸館 50 千円）
（令和 3 年度 2 月末実績 1,952 千円）
5. 団体予約 件数 200 件（令和 3 年度 2 月末実績 150 件）

<施策>

- ① 来館者数アップ 展示関連イベントの実施
・ワークショップ 4 回 ・もののけトーク 1 2 回 ・スペシャルトーク 1 回
 - ② テレビ番組や雑誌の取材機会を多くするために各会社へのアプローチを行い、企画展の情報発信と無料入館招待券を顧客プレゼントとして利用していただくように提供等を行う。
 - ③ 日曜日・祝日等に「もののけキャスト」を招いて、話題性・娯楽性を高め、顧客満足度 UP により、リピーター及び口コミによる集客 UP を計る。
 - ④ もののけを題材にした人形劇や紙芝居等を招致し、広報活動により集客を図る。
 - ⑤ 季節に応じた展示物・装飾品等を掲示し、演出により顧客満足度を高める。
6. 公式ホームページ 年間 PV 数 40 万件（令和 3 年実績 約 35 万件）
 7. SNS 指数
 - ・FBリーチ数 : 6 万件（令和 3 年実績 約 5 万件）
 - ・twitter いいね数 : 4 万件（令和 3 年実績 約 3 万件）
 - ・Instagramリーチ数 : 10 万件（令和 3 年実績 約 8 万件）

<施策>

- ① ホームページのマイナーチェンジ（トップページから知りたい情報にたどり着き易くする）により、顧客に分かりやすく改良し、さらに顧客のアクセス頻度を上げるため、情報告知の頻度を月 4～5 件（年 60 件程度）行う。また、SNS 情報発信を昨年度から頻度を多くしていることを継続（2～3 日に 1 回）して発信する。

以上

令和4年度 湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次ものけミュージアム）常設展・企画展・企画展 年間計画表

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
令和 4年度 (2022)	常設展示	2/3～5/10 春の常設展 「日本の妖怪」担当-吉川 「稲生物怪録」担当-伏見	5/12～8/9 夏の常設展 「日本の妖怪」担当-吉川 「稲生物怪録」担当-伏見	8/11～11/8 秋の常設展 「日本の妖怪」担当-吉川 「稲生物怪録」担当-伏見	9/15～12/6 秋の企画展 「予言獣」(仮) 主な展示-アマビコ 担当-吉川	11/10～2/14 冬の常設展 「日本の妖怪」担当-吉川 「稲生物怪録」担当-伏見	12/8～3/7 新春企画展 「付喪神と道具の妖怪」(仮) 主な展示- 担当-伏見	2/16～5/9 春の常設展 「日本の妖怪」担当-吉川 「稲生物怪録」担当-伏見	3/9～				
		3/10～6/7 春の企画展 「妖怪のかたち2 あつめて・くらべて・かんがえる」 主な展示-魔縁三十六体 担当-吉川	6/9～9/13 夏休み企画展 「大河童展」(仮) 主な展示- 担当-伏見										
	展示関連 イベント	★ 5/14 ワークショップ	★ 5/15 スペシャルトーク	★ 6/18、7/16、8/20 トーク	★ 6/18、7/16、8/20 トーク	★ 9/17、10/15、11/19 トーク	★ 9/17、10/15、11/19 トーク	★ 12/17、1/21、2/18 トーク	★ 12/17、1/21、2/18 トーク	★ 3/18 トーク			